

自動車年鑑

Automotive Yearbook 2020~2021年版

自動車産業界唯一の総合年鑑

日刊自動車新聞社
一般社団法人日本自動車会議所 共編

B5判 約700頁(2冊組、分売不可、送料無料)
定価 22,000円(本体 20,000円+税)

新刊のご案内
令和2年
11月30日発売



特集企画 RESTART 新型コロナウイルスが自動車産業界にもたらすもの

新型コロナウイルスの世界的蔓延は、人々の生命はもちろん、社会・経済面にも歴史的なダメージを与えた。自動車産業界・関連産業界の側から新型コロナウイルスが世界に及ぼした影響を検証・整理す

るとともに、そこからの立ち直りの動きと価値観の変化をレポートする。(メーカー、サプライチェーン、新車・中古車販売、整備、用品、社会貢献、働き方など)

特集1 自動車メーカーが新しい街づくりーウーブン・シティ 日本で誕生へ

トヨタ自動車とNTTなどと協力し、人、建物、車などが情報でつながる実証都市「ウーブン・シティ」を21年から建設する。今後、世界中から参画企業を募り、開発と実証のサイクルを素早く回し、人工知能やヒューマン・モビリティ、ロボット、材料技術、持続可能なエネルギーの未来を追求する、その概要と進捗をクローズアップ。新たな価値とビジネスモデルを生み出し続ける仕組みに迫る。

特集2 変わる、自動車整備ー「特定整備」制度がスタート

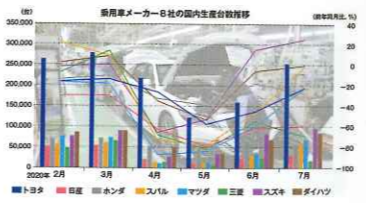
2020年4月に開始した特定整備、21年からの緊急自動車ブレーキ義務化、24年からはOBD車検スタートを控える中、これからどのように整備の在り方が変わるのか。CASE時代の自動車整備最新事情を追う。

特別企画 コロナ・ショックに揺れる自動車産業界 RESTART 新型コロナウイルスが自動車産業界にもたらすもの

世界で猛威を振るう新型コロナウイルス(COVID-19)は、グローバルで事業を展開する自動車メーカーや国内の流通現場に多大な影響をもたらした。2008年のリーマンショックと比べられるが、世界銀行の予測では、20年の世界実質GDP(国内総生産)成長率はマイナス5.2%でリーマン(マイナス0.1%)を大きく上回る。また、リーマンと異なり、コロナのような未知の感染症リスクは今後も消えることはない。「ウイズコロナ」「ニューノーマル(新常态)」という言葉があるように、コロナ禍を契機に仕事や暮らし、モビリティ(移動性)のあり方が変わる可能性がある。自動車メーカーはCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)の流れがより加速するとして投資の手を緩めず、流通や整備の現場ではデジタル技術などを振り入れて生産性の向上や働き方の改革に乗り出している。

早めの生産減産で「出血は最小限」に。将来へのCASE投資は継続へー自動車メーカー

新型コロナウイルスの世界的蔓延は、自動車メーカーの生産活動に多大な影響を及ぼした。世界の流通現場も中国で2月以降生産活動が停滞し、日本のサプライチェーン(供給網)の寸断で日本でも一部のメーカーで影響が顕在化。世界的な需要減も加わり、4、5月を中心に日系各社が生産調整に踏み切った。その後、6、7月には国内工場の稼働も減った。一方、海外では欧米で中国からのトラック(部材供給)による生産停止など、また中国で多量な自動車を生産せよとの声も出た。また中国でコロナ禍による世界的な需要減で大幅な減産となり、上場する自動車メーカーの2020年4~6月期決算は全社が赤字。6社が営業赤字となった。赤字を軽減したのはトヨタとスズキ、いすゞに限られた。トヨタに次ぎのいすゞは、いすゞの自動車部門が赤字に陥ったことで、結果的にトヨタの赤字幅も拡大した。これまで約1,000億円を投じている新車、一部、コロナ禍



別冊「The List」

自動車関連の住所録。所在地や電話番号に加え、FAXやHPアドレスも収録。見やすく使いやすいデータブックとしました。

●データ内容
中央団体、業界別、地域別など自動車業界に関するデータベース。



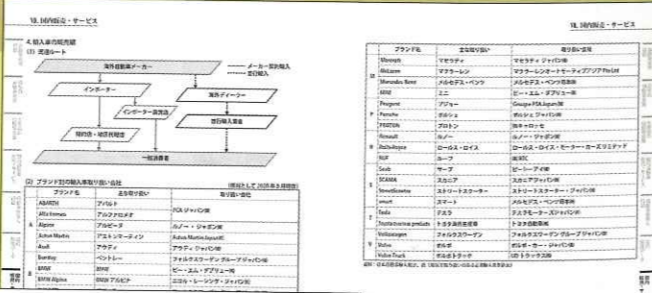
統計・資料

国内関連データ (生産・販売など)

国内メーカー各社の販売額、車体・部品生産

主要国の自動車台数統計 諸税、道路、交通環境

国	2019	2020	2021(推)
日本	1,848,000	1,848,000	1,848,000
中国	2,500,000	2,500,000	2,500,000
米国	1,000,000	1,000,000	1,000,000
EU	1,500,000	1,500,000	1,500,000



メーカー	2019	2020	2021(推)
トヨタ	1,200,000	1,200,000	1,200,000
日産	800,000	800,000	800,000
本田	700,000	700,000	700,000
スズキ	600,000	600,000	600,000
マツダ	500,000	500,000	500,000
三菱	400,000	400,000	400,000
日野	300,000	300,000	300,000
五十鈴	200,000	200,000	200,000

特集 カーディテylingサービスを取り入れる

出張でディーラー、整備工場の依頼へ迅速に対応
同店は黒とウッド調を基調とした外観と、ゆったりとくつろげる待合室を備えているが、作業の約8割は出張作業となる。5台あるサービスクーパで地域のディーラーや整備工場、板金塗装工場、レンタカー拠点などへ出張してガラス



glass Dダックス相模原店



「スーパーサービスカー」にはあらゆる作業機材が搭載され、そのまま出張先へ回れる



作業台車には工具類が整理されている



大きなターゲットボードも搭載できる

交換やフィルム施工などを実施している。作業の道具や交換用ガラスを搭載するサービスカーは軽自動車やバンを採用しているが、1台はトヨタ「ハイエース」を用いたその名も「スーパーサービスカー」を導入している。ハイエースを採用したのは、ミニバンのフロントガラスやエーミングのターゲットボードなどを搭載する機材が拡大しているため。広い車内を有効に活用し、多くの機材を搭載できるため、依頼ごとに拠点へ戻らずとも作業が進められる。まさに1台完結型の「動く店舗」という相対で、毎日フル稼働している。

カーフィルムは横ばいを維持
作業内容はフロントガラス交換(エーミング)交換やフィルム施工などを実施している。作業の道具や交換用ガラスを搭載するサービスカーは軽自動車やバンを採用しているが、1台はトヨタ「ハイエース」を用いたその名も「スーパーサービスカー」を導入している。ハイエースを採用したのは、ミニバンのフロントガラスやエーミングのターゲットボードなどを搭載する機材が拡大しているため。広い車内を有効に活用し、多くの機材を搭載できるため、依頼ごとに拠点へ戻らずとも作業が進められる。まさに1台完結型の「動く店舗」という相対で、毎日フル稼働している。

導入工場ルポ
glass Dダックス相模原店

機動力を生かし効率良くガラス交換やカーフィルム施工に着手

首都圏と中国地方に21店舗を展開するガラス施工業者のダックス(本田章郎社長、鳥取県米子市)。ガラス交換に伴うエーミング(機能調整)作業も全店舗で対応可能とするなど需要に応じたサービス体制を構築する。相模原市南区の「glass Dダックス相模原店」は昨年、特定整備認証をグループ内で先行して取得し、同社のモデル店に位置づけられている。